2013. 12

電子黒板＆タブレット連携アプリケーションソフトウエア

eトーキー GL50 for School

電子黒板用アプリ　取扱説明書

（Ver. 1. 1. 0）

Talkie

Talkie System Co.,LTD.

もくじ

もくじ

もくじ　２

はじめに

ご利用に際しての注意点　３
個人情報の保護について　３
ネットワークに関するお願い　４
ユーザ名とパスワードに関するお願い　４
この取扱説明書の見方　５
システム構成図　６
動作に必要なシステム環境　７
画面・操作パネルの説明　８

操作手順

授業の流れの概要　２６
アプリの立ち上げ　２７
配布モード　２９
分割画面への書込み　３６
提出モード　３８
描画ツールの使い方　３９
スクリーンショット機能　４０
スタンプ機能　４２
クイズ・アンケート機能　４３
画像の読込み　４６
動画の読込み・再生　５０
エクスプローラーを利用しての画像・動画の読込み　５３
授業の終了　５４
授業データの保存について　５５

はじめに

このたびは、電子黒板＆タブレット連携アプリケーションソフトウエア＜e トーキー GL50forSchool＞（以下＜ｅトーキー®>と呼称）をご利用頂きまして、大変ありがとうございます。＜e トーキー®＞を使うと、教材や資料・写真などを電子黒板＆タブレット間で簡単にストレスなく共有・配信することができます。また、クイズ・アンケート機能などを搭載することで、より楽しく授業を進めて頂ける環境を準備しております。

＜ｅトーキー®>ご利用に際しての注意点

・お客様もしくは第三者がこの製品を誤って使用したことにより、故障や不具合、及び、それが原因となり損害が発生した場合、法令上の責任が認められる場合を除いて、当社は一切その責任を負いかねますので、ご了承頂けますようお願いいたします。

・＜ｅトーキー®>を利用して著作権の対象となっている著作物を複製・編集し、ご利用になることは、個人的な利用以外は著作権侵害になります。特に、TV や DVD 等の著作権のある写真や資料などを配信する場合には、著作者の許諾を取得してください。また、他人の肖像権侵害などにならぬようご利用方法については厳重なるご検討をお願いいたします。

・＜ｅトーキー®>及び、本取扱説明書は、改良のため予告無く内容を変更することがあります。

個人情報の保護について

本製品で使用する認証情報（ユーザー名、パスワード）、氏名、出席情報、学習履歴情報などは、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」および「個人情報データベース等」に該当します。これらの個人情報については、法律に従って適正にお取り扱い及び管理ください。
※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」を参照してください。

ネットワークに関するお願い

本製品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

① 本製品を経由した情報の漏えいや流出

② 悪意を持った第三者による本製品の不正操作

③ 悪意を持った第三者による本製品の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

・コンピューターが接続されているシステムで本製品を使用する場合、コンピュータウィルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

・不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。

・認証情報（ユーザー名、パスワード)、氏名、出席情報、学習履歴情報、サーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。

・本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

ユーザー名とパスワードに関するお願い

本製品を使用する際にご登録いただくユーザー名、パスワードなどの認証情報について、以下の点に注意する必要があります。

①パスワードはユーザー毎に設定し、共有化しないようにしてください。

②内部関係者または外部関係者が、管理不備などによりユーザー名、パスワード発行書類を持ち出して漏えいさせ、もしくは悪意の第三者が、利用に対してショルダーハッキングをおこなったり、周囲に残されたメモ書きなどを参照したりすることで不正にユーザ名、パスワードを入手して正規の利用者になりすますなどの恐れがあります。ユーザー名、パスワードの管理には十分ご注意ください。

③利用者が、パスワードを忘れて認証に失敗し、本製品を使用できなくなる恐れがあります。その場合、システム管理者が、該当のユーザーのパスワードの再登録をしてください。

この取扱説明書の見方

●本説明書は、＜ｅトーキー®>について説明したものです。 本説明書は＜ｅトーキー®>のバージョンアップに伴い内容が更新されます。最新版は、次のホームページアドレスよりダウンロードいただくことが出来ます。

取扱説明書（最新版）　ダウンロードアドレス：

http://talkie.co.jp/etalkie/manual/

●表記等について

・メニュー、ウィンドウ、ダイアログボックス、ボタンなどを、「」で表しています。
（例）「配信」メニューをクリックすると・・・
「戻る」ボタンをタップして・・・

・本説明書に記載されている画面サンプルや操作手順は、代表的な一例です。お使いになられているハードウエアやＯＳ、その他の環境により内容が異なる場合がありますのでご了承ください。

・本説明書では、ハードウエア、及び、Windows などの OS についての説明はいたしておりません。

システム構成図

動作に必要なシステム環境

1．電子黒板用ＰＣ

項　目	内　容
ソフトウエア	① e トーキーGL50 for School サーバーアプリ ② e トーキーGL50 for School アプリ ※ソフトウェアは生徒用タブレットの接続台数により以下の 4 タイプを提供 生徒用タブレットの接続台数：48・35・24・15 クライアント版
動作環境	OS　：Windows 7 Service Pack 1 (32 または 64bit), Windows 8 (32 または 64bit) Windows 8.1 (32 または 64bit) CPU　：インテル Core2Duo 1.66GHz 以上

2．無線ＬＡＮ機器

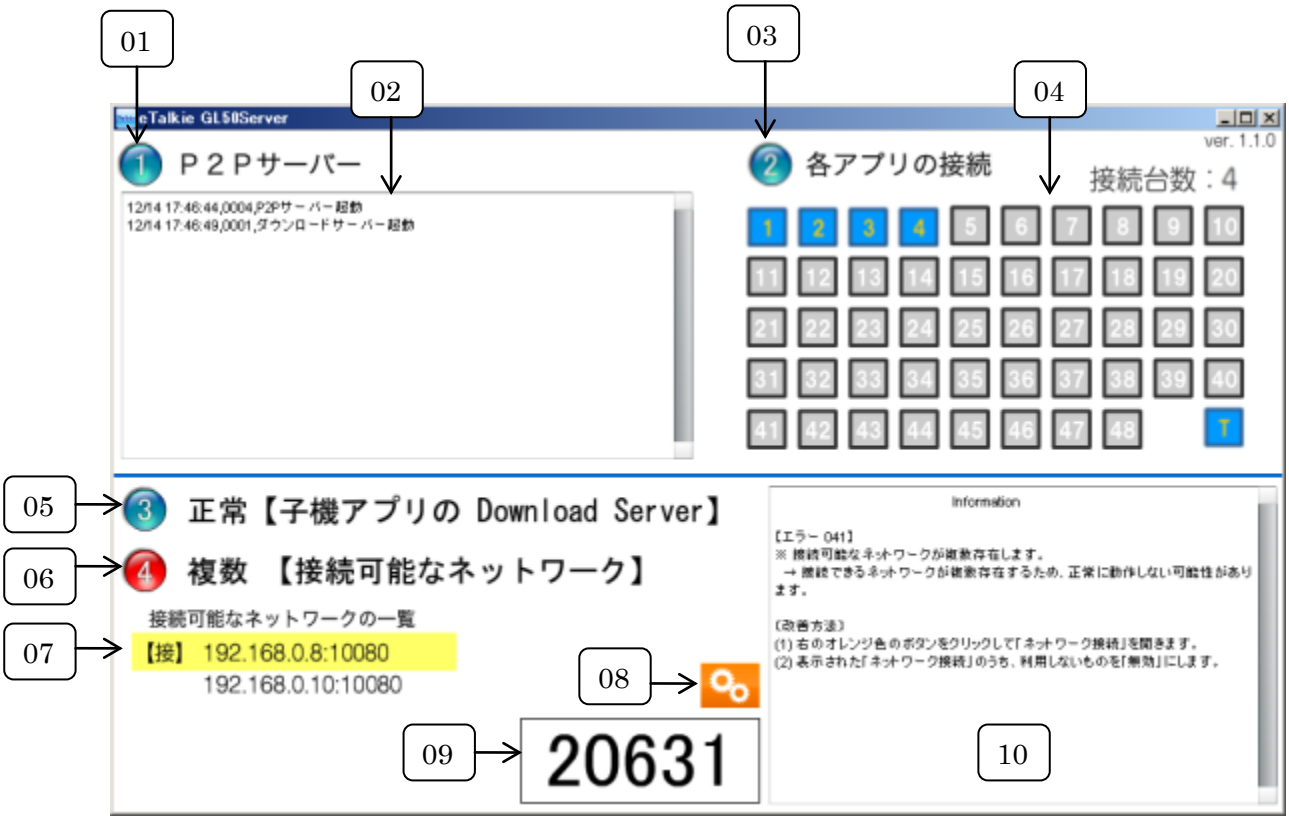
項　目	内　容
無線ＬＡＮ機器	・スループットの大きい IEEE802.11n を推奨します。 ・無線タブレットの使用台数と Wi-Fi アクセスポイント（AP）の仕様により、アクセスポイントの複数化が必要になる場合があります。 ・複数の教室で利用される場合は、教室間の干渉の可能性があります。アクセスポイントの選定と設置時の調整が必要になる場合があります。 【電子黒板用電子ペンを利用する際の注意事項】 ・電子黒板用電子ペンの周波数（2.4GHz 帯）との干渉を防ぐ為、無線 LAN では 5GHz 帯の利用を推奨します。

※上記は標準的な要求システム環境です。　コンテンツやご利用環境により上記環境を満たしていてもスムースなコンテンツ作成・配信・表示が出来ない場合もあります。

※上記の内容は、< e トーキー®>アプリケーションソフトウエアのバージョンアップにより随時変更しますのでご了承ください。

画面・操作パネルの説明

1．e トーキーGL50 サーバー



番号	ボタン／表示	機　能
01	サーバー起動状態表示インジケーター	サーバーが正常に動作している場合は青色、正常に動作していない場合は赤色で表示されます。
02	サーバーの動作状況ログデータ	サーバーの動作状況のログを表示します。
03	生徒アプリ接続状態表示インジケーター	生徒端末が接続しているときは青色、接続していないときは赤色で表示されます。
04	生徒アプリの接続状態表示	生徒アプリが接続すると青色になります。

（つづき）

番号	ボタン／表示	機　能
05	ダウンロードサーバー動作表示インジケーター	生徒用アプリダウンロード等に使う Web サーバーが正常起動したときに赤色から青色に変わります。 → 生徒用アプリのダウンロードは、別冊「インストールガイド」の、「生徒用アプリ」の項をご参照ください。
06	ネットワーク接続インジケーター	ネットワークに正常接続している時、青色で表示されます。
07	現在の IP アドレス表示	GL50 サーバーの、現在の IP アドレスを示します。
08	ネットワーク設定ボタン	Windows コントロールパネルの「ネットワーク接続」画面を開きます。サーバーアプリは終了されます。
09	ＩＤ番号表示	授業ごとのＩＤ番号です。生徒がＩＤ番号により授業に参加する場合はこの番号を入力して参加します。
10	インフォメーション表示	エラーメッセージやその対処法などのインフォメーションを表示します。

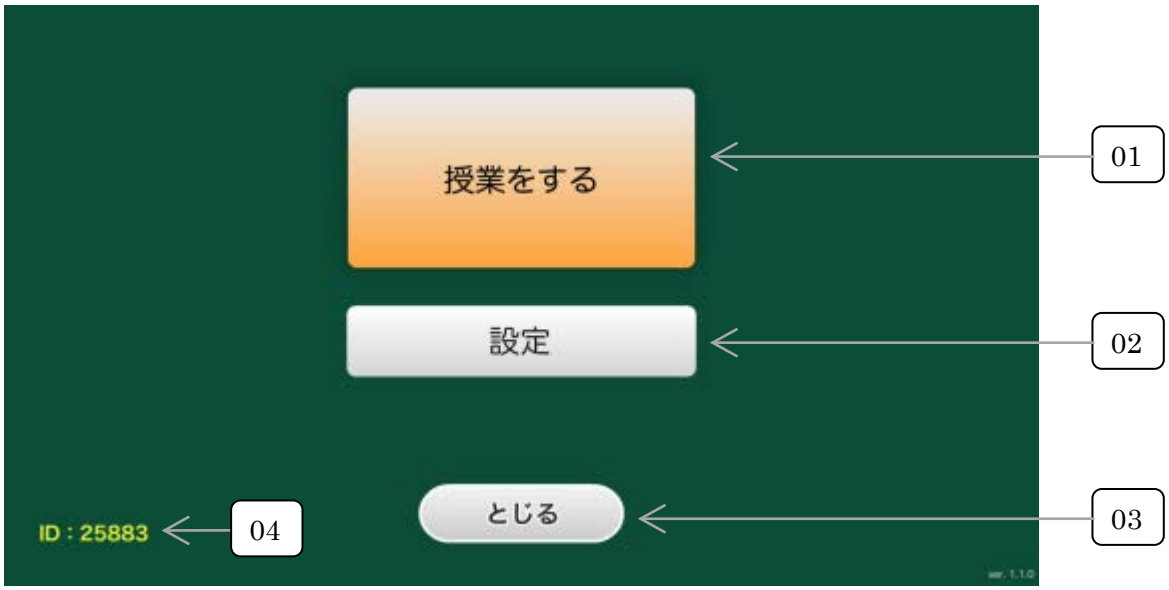
（ご注意）

お使いのＰＣにセキュリティソフトなどを導入している場合、正確な情報が表示できない場合があります。

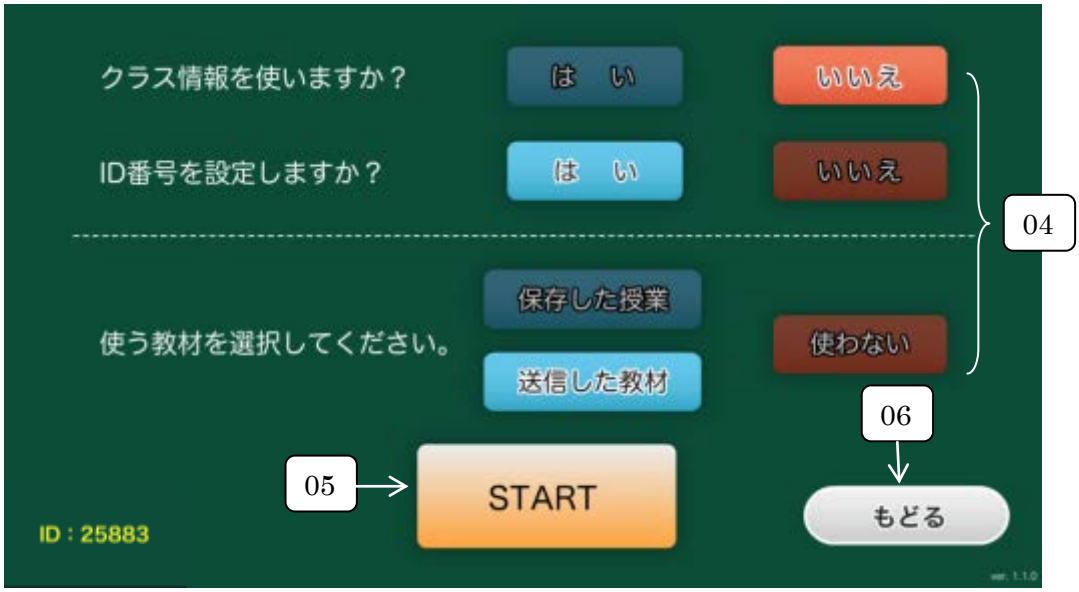
2．起動後の画面

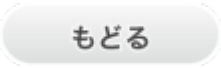
1）トップ画面

アプリの起動直後に立ち上がる画面です。



番号	アイコン	ボタン名称	機　能
01	授業をする	授業をするボタン	授業を開始したい場合に押します。次ページの画面が表示されます。
02	設定	設定ボタン	Windows のコントロールパネルが開き、ペンとタッチ、ネットワークの設定ができます。
03	とじる	とじるボタン	画面が閉じ、プログラムを終了します。
04	ID：25883	ＩＤ番号表示	授業ごとのＩＤ番号です。生徒がＩＤ番号により授業に参加する場合はこの番号を入力して参加します。

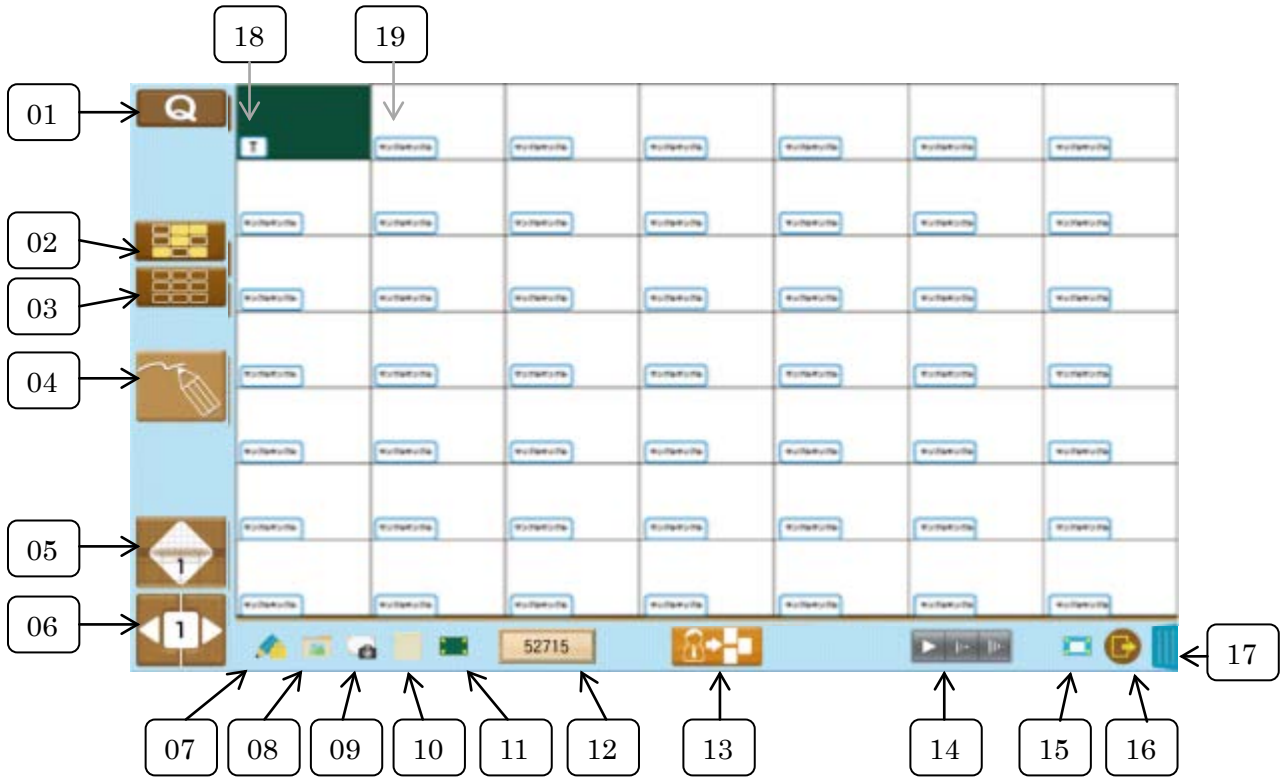


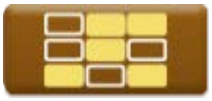
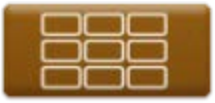
番号	アイコン	ボタン名称	機　能
04		クラス情報、教材使用、ＩＤ番号の設定	クラス情報、教材の使用（保存した教材、送信した教材）、ＩＤ番号の設定について、それぞれ、「はい」「いいえ」で設定します。
05		スタートボタン	押すとホワイトボードが立ち上がり、授業が開始されます。 ※このボタンは 04 をすべて設定し終えると表示されます。 ※「ＩＤ番号を設定しますか？」で「はい」にした場合には、ここを押すとＩＤ番号が表示されます。
06		もどるボタン	前のページに戻ります。

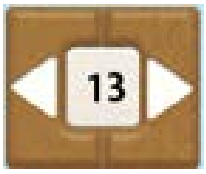
1）ホワイトボード画面

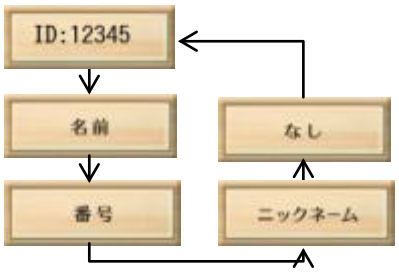
1－1）配布モード画面（初期画面、49 分割画面の例）

① 配布モード初期画面（選択できる状態）



番号	アイコン	ボタン名称	機　能
01		クイズ・アンケート ボタン	クイズ・アンケートを開始します。
02		ランダム選択 ボタン	分割表示された個々の画面をランダムに選択します。選択画面数は、現在表示されている分割数より 1 段階低い分割数を選択します。先生が手動でいくつかの画面を選択し、残りをランダム選択することも可能です。
03		選択解除 ボタン	分割表示画面において選択した画面を解除します。(画面を選択しているときに表示されます)

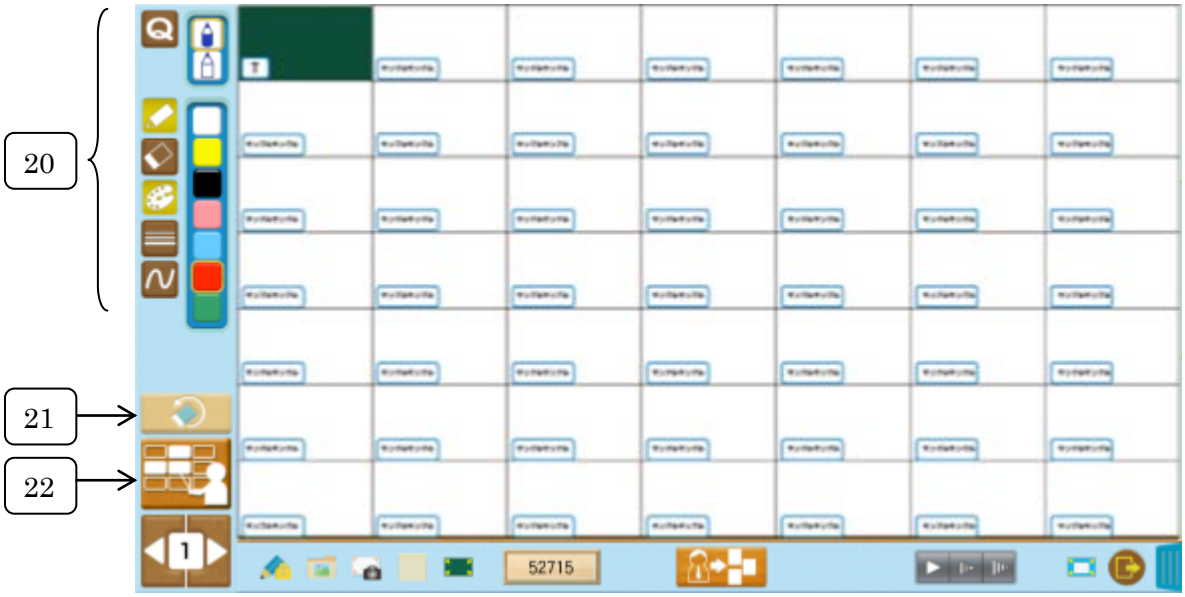
04		描画ボタン	分割表示画面において、画面を選択できる状態から、手書きなどができる状態に切り替えます。 → 詳しくは p17 以降を参照ください。
05		分割表示数変更ボタン	上のボタンを押すと分割数の多い表示になり、下のボタンを押すと分割数の少ない表示になります。最大４９分割表示で、３６分割、２５分割、１６分割、９分割、４分割、分割なしの切り替えが可能です。
06		ページ送りボタン	右のボタンを押すと次のページに進み、左のボタンを押すと前のページに戻ります。左の図では、現在、１３ページが表示されていることを示します。（最大は９９ページ）
07		画面操作のロックボタン	押すと全生徒側端末の画面操作をロックします。ロック中は右側のように全体が黄色く表示されます。
08	 	画像登録ボタン 画像削除ボタン	生徒端末で撮影した画像や動画、或いは、電子黒板用ＰＣのローカルフォルダに保存された画像や動画を読込んで表示することができます。 画像を登録すると、このボタンは「画像削除ボタン」に変わります。これを押すと登録した画像が削除されます。
09	 	スクリーンショットボタン	このボタンを押すと、ｅトーキー画面が閉じ、Windows のデスクトップ画面が表示されます。その左上に下のようなボタンが表示され、別アプリやホームページなどの画面を、スクリーンショットで保存し、ｅトーキーに取り込むことができます。 → 黄色い部分を押すとスクリーンショットが撮影できます。 → 赤色の部分を押すとキャンセルされ、ｅトーキー画面に戻ります。

10		ブラインドボタン	押すと、画面全体を隠すことが出来ます。 もう一度押すと元の状態に復帰します。
11		黒板表示拡大ボタン	押すと、ツールバーを表示せず、黒板面のみ拡大表示します。 拡大表示中は画面の右下に元に戻すボタンが表示されます。
12		名札表示切替ボタン	押すたびに、名前、番号（出席番号等）、ニックネーム、非表示、ログインＩＤの表示を切替えることが出来ます。  表示を切り替えると、ボタンの右端に確定ボタンが表示されます。この確定ボタンを押すことで画面上の名前表示が切り替わります。 ←確定ボタン ※ログイン ID 表示の時には、確定ボタンが表示されません。 確定ボタンを表示させた状態で他のボタンを押すとキャンセルされます。

13	 配布モード 提出モード	配布モード・提出モードの切替ボタン	押すたびに、配布モードと提出モードを切替えることができます。 ※配布モード・提出モードに関する詳しい説明は、本書の「操作手順」の、「配布モード」及び「提出モード」のページをご参照ください。
14		再生スピード変更ボタン	黒板上に登録した動画の再生をコントロールします。一番左のボタンを押して再生、まん中のボタンで１／４の速度で再生、右のボタンで１／８の速度で再生します。 各ボタンを押すと、「一時停止ボタン」に変わります。動画の音声は、通常再生の場合のみ再生されます（スロー再生では音はできません）
15		ウィンドウ表示切替ボタン	フルスクリーンで表示するか、ウィンドウ表示にするかを切替えます。
16		授業終了ボタン	押すと授業を終了します。
17		ツールバー左右反転ボタン	標準では左側に表示される縦型のツールバーの位置を、左右入替えます。

18		教師用黒板画面の名札表示ボタン	教師用黒板は、分割画面において左上に配置されます。 教師用名前ボタンは「T」で表示されます。 名前ボタンを押すと、画面を全端末に表示したり、電子黒板だけに表示したりできます。
19		生徒用端末画面の名札表示ボタン	生徒用名前ボタンは 12 「名札表示切替ボタン」で選択した形式で表示されます。 名前ボタンを押すと、画面を全端末に表示したり、電子黒板だけに表示したりできます。

② 配布モード描画画面（描画できる状態）



番号	アイコン	ボタン名称	機　能
20		アンケートボタン	クイズ・アンケートを開始、終了します。 左：開始前（押すと開始します） 右：アンケート実施中（押すと終了します）
		ペンツールボタン	手書きで描画する時にこのボタンを押します。 ペンパネルで「えんぴつ」と「マーカー」を選択できます。
		消しゴムボタン	なぞった部分の描画を消すことが出来ます。消される範囲は、半透明の灰色で表示されます。 消しゴムパネルで「全消し」と「部分消し」を選択できます。 「全消し」は一度に消すことができます。

20		色ボタン	色パネルを表示し、、ペンツールで使用する鉛筆、マーカーの色を選択できます。
		線の太さボタン	線の太さパネルを表示し、鉛筆、マーカー、消しゴムを使うときの線の太さを選択できます。
		線の種類ボタン	線の種類パネルを表示し、直線、自由曲線、四角形、円を選択できます。
21		マジック消しゴムボタン（マジ消しボタン）	押すたびに、描いた文字や図形を、一筆書き単位で取消すことができます。ページをめくると、そのページの内容は取消せなくなります。
22		分割選択画面表示ボタン	分割画面を表示し、各生徒の画面を選択することができるようにします。

1－2）提出モード画面（49 分割、初期画面）

① 提出モード初期画面（選択できる状態）

② 提出モード初期画面（描画できる状態）

（注意）

・提出モードでは、アンケートボタンは使えなくなっています。

・描画できる状態のとき、4 分割以下の表示のときは各画面に描画でき、9 分割以上の表示のときは、画面をまたがって描画することができます。（→ p37 をご参照ください）

1－3）クイズ・アンケートモード画面

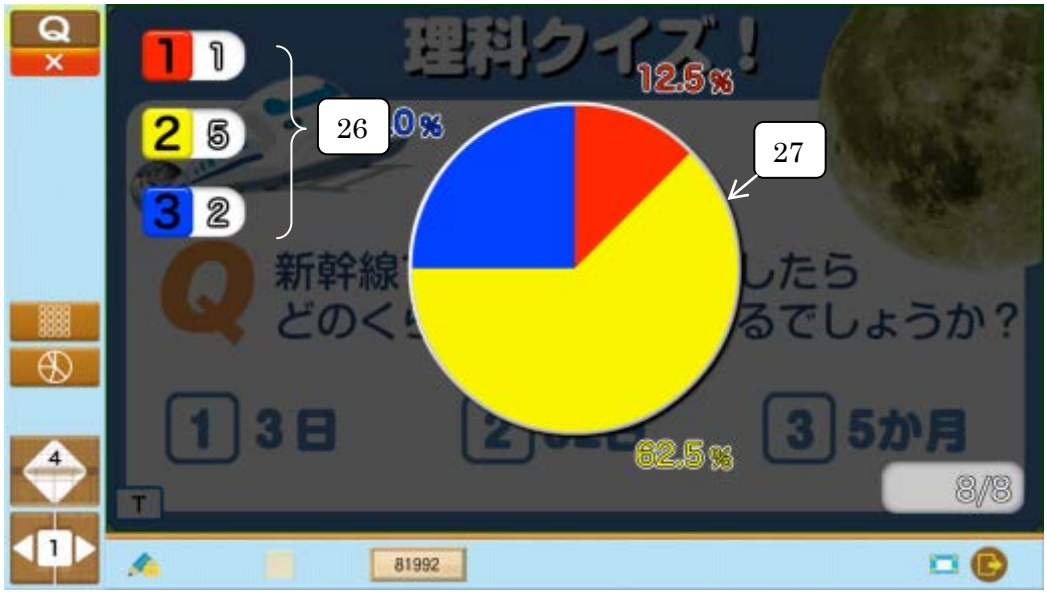
① クイズ・アンケートモード（初期画面）

番号	アイコン	ボタン名称	機　能
22		グラフ表示ボタン	アンケートモード画面で、グラフ画面を表示します。 ※アンケートの内容により、棒グラフ（数集計）、または円グラフ（割合%集計）を表示します。
23		回答者数表示	アンケートへの回答者数／全生徒数（授業に参加している端末数）を示します。

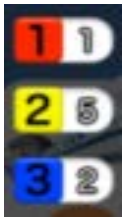
② クイズ・アンケートモード（グラフ画面１）　複数回答（答えが複数）の場合に表示

番号	アイコン・表示	ボタン名称	機　能
24		分割画面表示ボタン	分割画面表示して、各生徒の回答状況を色別で表示します。
25		グラフ表示１（棒グラフ）	アンケートの集計を棒グラフで表示します。棒グラフは、複数回答を可能にしてアンケートを出題した場合に表示されます。アンケートは複数選択（２択～５択）で設定でき、集計結果答番号ごとに色分けしてグラフと回答数で表示されます。 右下の数字（この例では４８）は、アンケートに回答した人数を示します。

③ クイズ・アンケートモード（グラフ画面２）　単一回答（答えが一つ）の場合に表示



④ クイズ・アンケートモード（グラフ画面３）　単一回答の場合の、答え合わせ画面

番号	アイコン・表示	ボタン名称	機　能
26		集計結果表示	アンケートの集計結果（回答数）を示します。
27		グラフ表示	アンケートの集計を円グラフで表示します。円グラフは、単一回答（答えが一つ）の場合に表示されます。
28		答え合わせボタン	クイズ・アンケートの答え合わせ画面が表示されます。 ※教師用アプリにより事前に正解が設定されている場合にのみ表示されます。
29		集計結果表示	アンケートの集計結果（回答数）を示します。

⑤ クイズ・アンケートモード　結果一覧表示（選択できる状態）

⑥ クイズ・アンケートモード　結果一覧表示（描画できる状態）

番号	アイコン・表示	ボタン名称	機　能
31		並び替え ボタン	各生徒の画面を、回答順（色順）に並び替えて表示します。
32		生徒画面 （分割表示）	各生徒の画面を一覧表示し、色で回答結果を示します。

⑥　クイズ・アンケートモード　結果一覧表示（「複数選択」を可能にした場合）

番号	アイコン・表示	ボタン名称	機　能
34		生徒画面 （分割表示）	アンケートで「複数選択可能」の設定がされている場合、各生徒が選択した番号をアイコンで各生徒画面に表示します。

操作手順

授業の流れの概要

1　同一ネットワークへ接続し、すべてのアプリを立ち上げます

① 電子黒板用ＰＣ、教師用端末、及び、全ての生徒用端末を同一ネットワークに接続します。

② すべてのアプリ（電子黒板、教師、生徒）を立ち上げます。全ての生徒用端末が同一ネットワークに接続していると、自動的にアプリが相互に接続し授業が出来る状態になります。

2　クラス編成を行います

授業へ参加するには、以下の 2 通りの方法があります。

●クラス編成を事前に行うことで、アクセスできる生徒端末を設定することができます。

●電子黒板用アプリに表示された ID を各生徒端末に入力することで授業に参加できます。

※同じネットワークに接続していても、ID が違う場合は同一クラスと見なしません。
　また、同じネットワークで複数のクラス編成を行うこともできます。

3　授業を行います

<e トーキー®>の様々な機能を使って、先生から生徒へ、また、生徒から先生へ、相互に情報を共有しながら授業を行います。

- **電子黒板とタブレットのリアルタイム連携**
- **分割画面表示（最大 49 分割表示）**
- **配布モード・提出モードで双方向の授業**
- **スクリーンショット機能**
- **種々の素材を利用可能**
- **クイズ・アンケート機能**

4　授業の終了

授業が終わったら、各端末のアプリを終了します。

アプリの立ち上げ

1 「e トーキー GL50 サーバー 」の起動

電子黒板用PCにインストールされている「e トーキーGL50サーバー」アプリを立ち上げてください。

デスクトップのアイコン

をダブルクリックします。するとサーバーウィンドウが一瞬表示されたのち、タスクバーに格納されます。

2 「e トーキー GL50」の起動

デスクトップのアイコン

をダブルクリックします。下のような図が表示されます。

① 「授業をする」を押します。

※「設定」機能は今後搭載予定です。

② 左図の画面が表示されますので各項目の「はい」「いいえ」を選択してください。

「クラス情報」
※教師用アプリでクラス登録をしている場合に「はい」選択します。

「ID 番号」
※授業ごとの ID を設定する場合に「はい」を選択します。

「教材」
※以前の授業を保存して終了した場合はその続きから授業を行うことができます。(→「授業を終了する」を参照)
また、教師用アプリから送信した授業データを使うことができます。

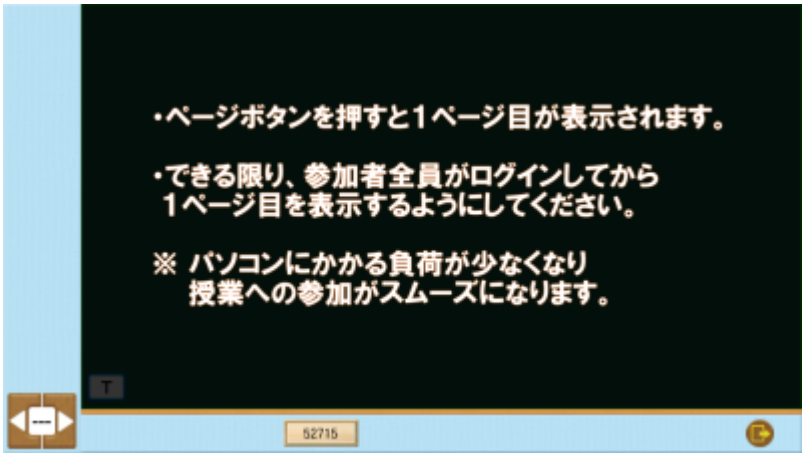
③　クラス情報、ＩＤ番号、教材のすべての項目を設定すると、「はじめる」のボタンが表示されます。

START　を押します。

③　「ID 番号設定」で「はい」を選択した場合のみ左のような画面が表示されます。

※それ以外は下記の④の画面になります。

表示されたＩＤを授業に参加する生徒に伝えます。
生徒は自分の端末からこの ID を入力することで、授業に参加できます。



④　授業が開始されました。

※参加する生徒の数により、分割画面表示されます。各生徒の画面はシャッターが下りた状態で表示されます。

※「ID 番号設定」で「はい」を選択した場合には③の操作の後、授業が開始されます。

※「ID 番号設定」で「いいえ」を選択した場合には、②の操作の後すぐに授業が開始されます。

※電子黒板アプリ、教師用アプリのいずれかのページボタンを押し授業を開始します。

配布モード

配布モードは、事前に準備した資料や写真などを生徒端末に一斉配布し、個々の端末で異なる手書きなどが行えるモードです。従来の授業でプリントを配布して行うようなイメージの使い方になります。

教師側からの操作で、特定の画面を共有したり、一つの画面に全員で書込みを行ったりすることができます。

配布モードを示すボタン
（ホワイトボード下部に表示）

1 「ホワイトボード」を立ち上げます

次のような画面が表示されます。

※下の例は 49 分割画面ですが、授業に参加している生徒数に応じて最適な分割数が表示されます。
分割数は、49 分割、36 分割、25 分割、16 分割、9 分割、4 分割、分割なし（1 分割）です。

これらの分割画面は、電子黒板 PC の画面（左上の深緑色の画面）、及び、各生徒端末の画面（その他の白色の画面）を表示しています。

3　分割画面で表示された画面の拡大表示

分割画面で表示された各画面を拡大表示するには次のような操作を行います。

① 拡大表示したい画面の左下の名札表示ボタンをクリックします。（矢印部分）

※左図は電子黒板の画面（左上の深緑色の画面）を拡大する場合の例ですが、各生徒の画面（白色）を拡大する場合にも同様の操作を行います。

② 左図のようなダイアログ画面が表示されます。

「共有する」

電子黒板および全生徒の端末に表示します。拡大表示した端末と電子黒板（教師）からの書込みはできますがそれ以外の生徒端末からの書込みはできません。

「共有する（書き込み）」

「共有する」の状態で、全生徒からの書込みができます。

「共有しない」

電子黒板のみに拡大表示し、他の生徒の端末には表示されません。
選択された画面からは書込可能です。

「キャンセル」

本操作をキャンセルし、前の画面に戻ります。

③ 選択した画面が拡大表示されます。

※この場合、左（右）のツールバーは描画用のツールバーに代わって表示されます。（描画できる状態）

※拡大画面左下の名前表示部分をクリックすると、元の分割表示画面に戻ります。（矢印部分）

3　分割表示数の変更（１）分割表示数変更ボタン

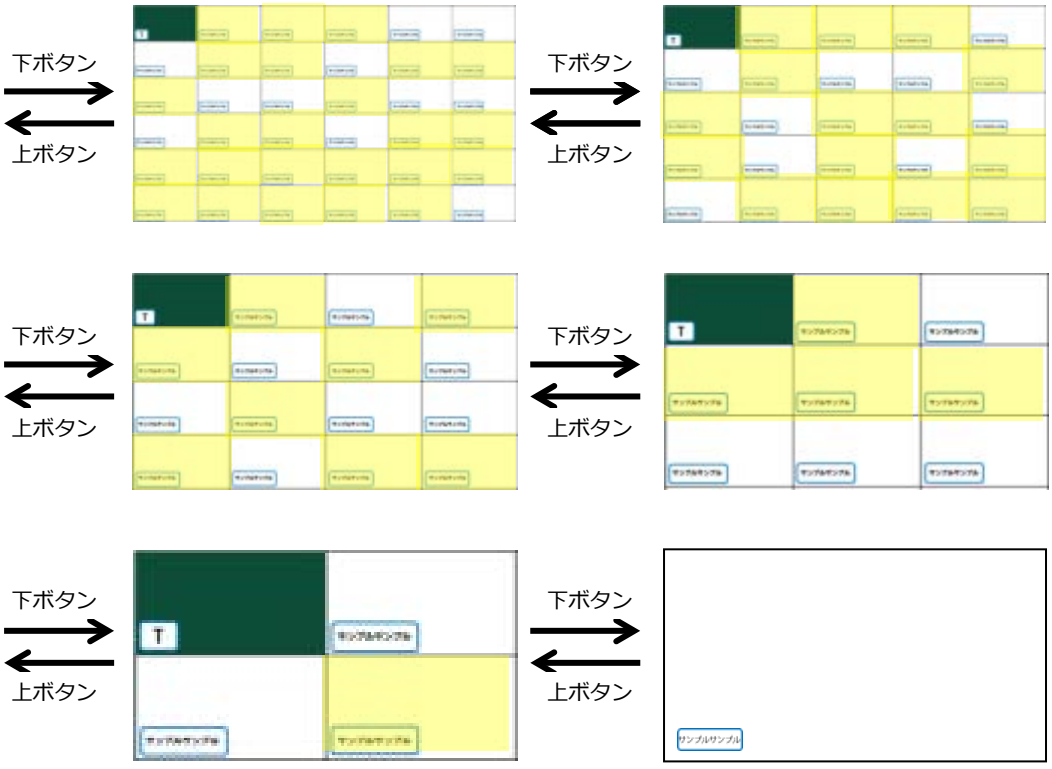
分割画面の分割数を変更するには次のような操作を行います。

【分割表示数変更ボタン】

上のボタンを押すと分割数が
多くなります。(縮小)

下のボタンを押すと分割数が
少なくなります。(拡大)

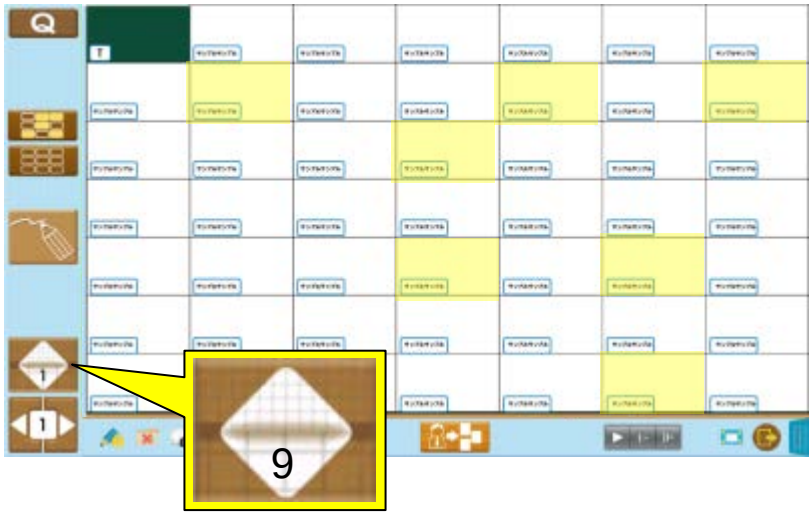
※先生が選択した画面（赤色で網掛表示）が拡大分割表示されます。
※画面を選択していない場合、ボタンに数字が表示されず、画面も切替わりません。



また、画面の選択数に応じて、「分割表示数変更ボタン」に表示される数字が変わり、最適な分割表示画面数で表示されます。

※ 4 画面を選択した場合、4 分割表示となります。

※ 分割表示ボタンの下部の数字は、下ボタンを押したときに表示される分割画面数を示します。この例の場合は、4 画面を選択していますので、4 分割表示となります。



※ 7 画面を選択した場合、9 分割表示となります。

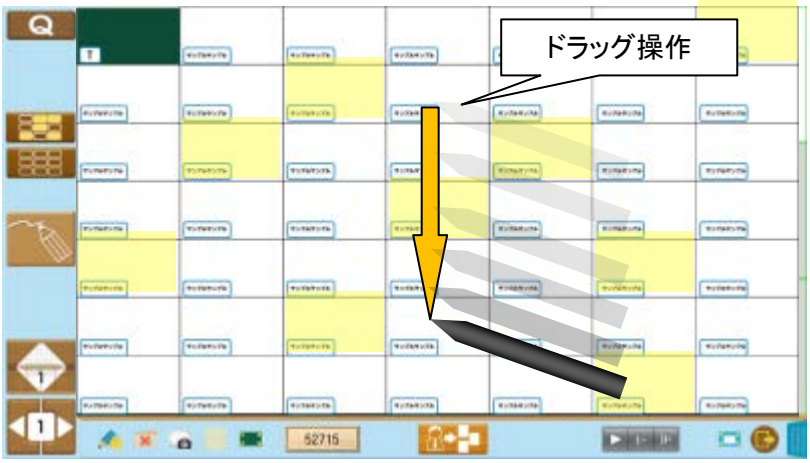
※ 3 画面を選択した場合、4 分割表示となります。

※ 分割表示ボタンの上部の数字は、上ボタンを押したときに表示される分割画面数を示します。一つ前の画面で表示していた画面数を表示しています。

4　分割表示数の変更（２）ドラッグ操作

ドラッグ操作は、電子黒板、タッチパネル等をご利用の際にお使い頂くことができます。
選択した画面だけを、選択した数に応じて分割表示することが可能です。

① 表示したい画面を選択します。
※画面クリックで選択されます。
※選択された画面は着色して表示されます。



② ボタン操作、または、「ドラッグ操作」により画面を入替えます。

【ボタン操作】

下のボタンを押して分割表示を変更します。

【ドラッグ操作】

画面に電子ペンでタッチして、矢印のようにペンをスライドさせます。
下向きにドラッグすると拡大表示
上向きにドラッグすると縮小表示となります。

③ 選択した画面だけが、選択した数に応じた分割数で表示漁れます。

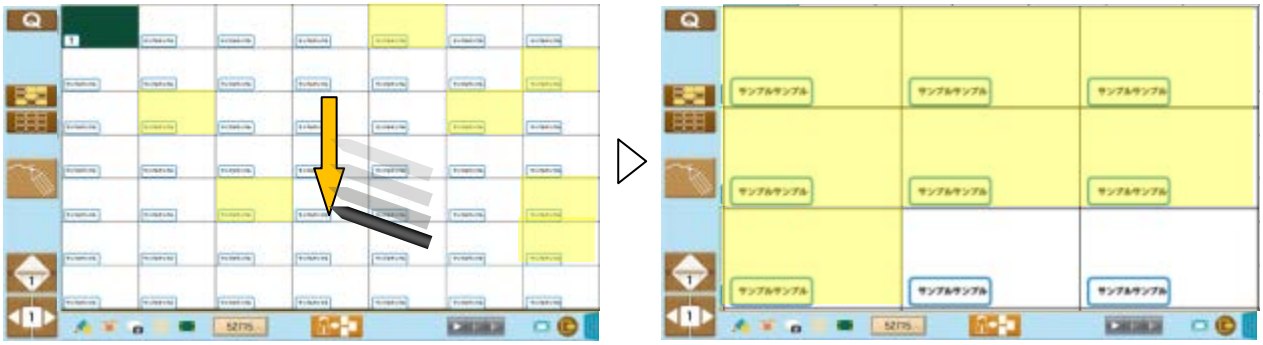
※画面の分割数をもとに戻すときは、上ボタン操作で行います。

【ドラッグ操作のバリエーション】

①下にドラッグ(9 分割～49 分割画面の場合)

選択した画面数に応じて、最適な分割画面数で表示されます。

画面の高さの 1/7 以上の距離をドラッグすると、ドラッグ操作が確定されます。

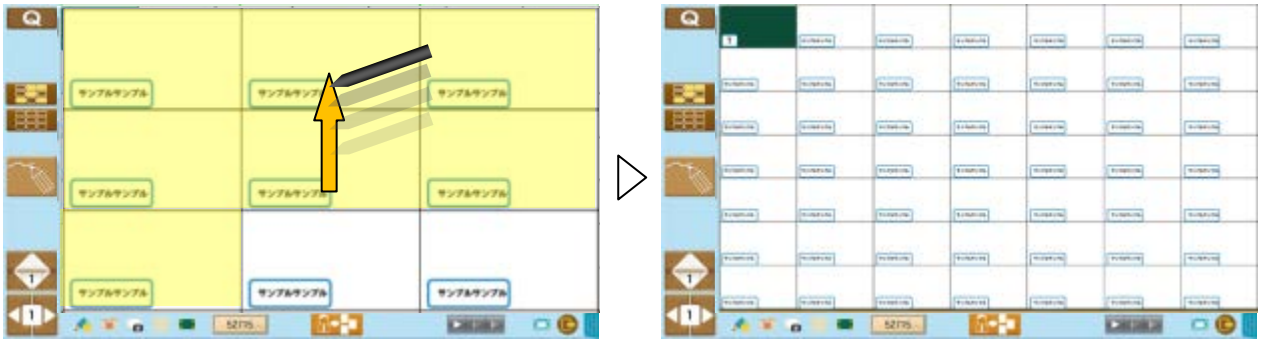


※ 画面の選択は解除されています。

②上にドラッグ(9 分割～49 分割画面の場合)

一つ前の画面（分割数が多い画面）に戻ります。（画面を選択しなおしても同じです）

画面の高さの 1/7 以上の距離をドラッグすると、ドラッグ操作が確定されます。



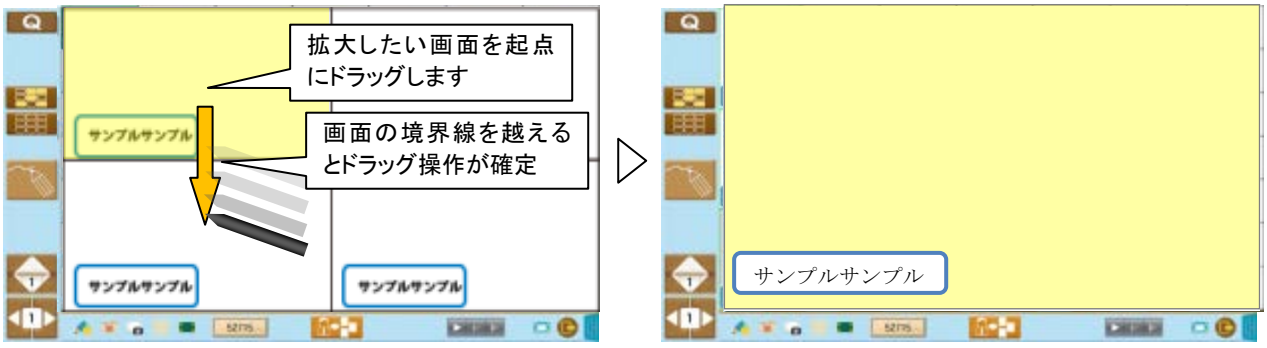
※ 画面の選択は解除されています。

※上の図は、一つ前の画面が 49 分割画面の場合です。

③ ４画面表示のとき

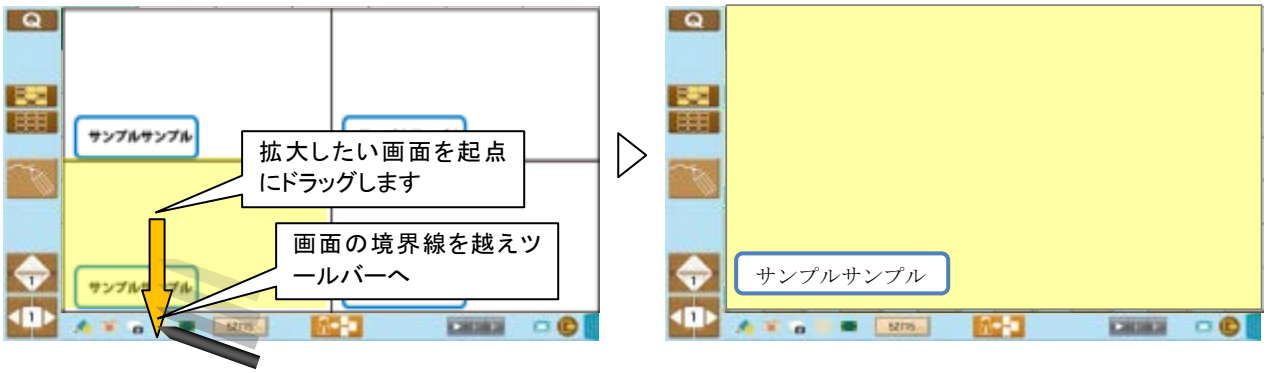
全画面（１画面）表示したい画面を起点にしてドラッグ操作（下へ）を行います。

別画面に入った状態でペンを画面から離すとドラッグ操作が確定され、全画面表示となります。



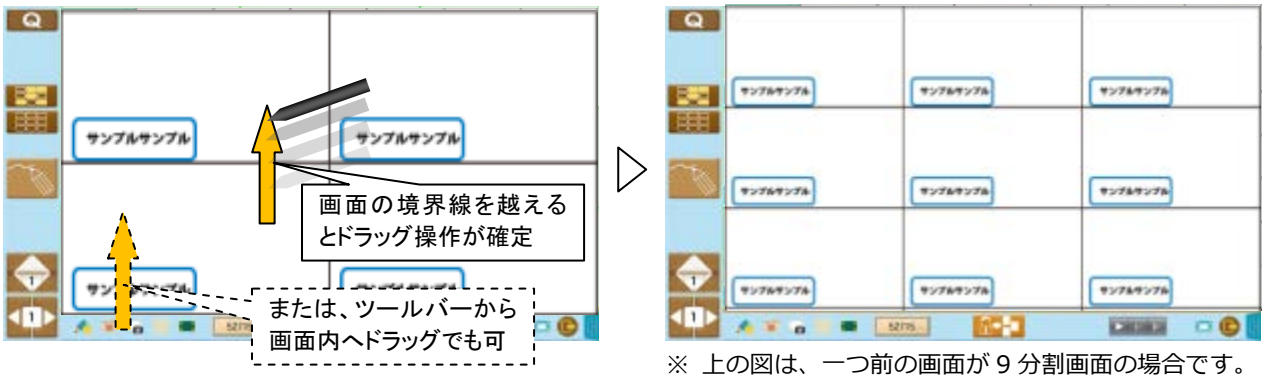
③ ４画面表示のとき（下側画面を拡大したい場合）

全画面（１画面）表示したい画面を起点にしてドラッグ操作（下へ）を行います。
別画面（ツールバー領域）に入った状態でペンを画面から離すとドラッグ操作が確定され、全画面表示となります。



④ ４画面表示のとき（分割数アップのとき）

いずれかの画面を起点にしてドラッグ操作（上へ）します。
別画面に入った状態でペンを画面から離すとドラッグ操作が確定され、一つ前の画面（分割数が多い画面）に戻ります。（画面を選択しなおしても同じです）



※ 上の図は、一つ前の画面が 9 分割画面の場合です。

④ 全画面（1 画面）表示のとき

ツールバーを起点にしてドラッグ操作（上へ）します。
別画面に入った状態でペンを画面から離すとドラッグ操作が確定され、一つ前の画面（分割数が

※ 上の図は、一つ前の画面が 9 分割画面の場合です。

5　選択できる状態、描画できる状態 の切り替え

分割画面上で手書き描画を行う場合は、「描画できる状態」に切り替えます。
※９分割～４９分割表示の場合に以下の方法で切り替え可能です。

【選択できる状態】

画面を選択し拡大表示や
分割数変更ができます。

【描画できる状態】

画面上にペンツールなどの
機能を使って板書できます。

※2 分割、４分割表示のとき
は、各画面に描画できます。

※9 分割以上の表示のときは、
画面をまたがって描画する
ことができます。

→p37 をご参照ください。

分割画面への書込み

分割画面表示している場合、分割画面上に書き込んだ場合について説明します。

1　2 分割表示、4 分割表示の場合

①「描画ボタン」を押します。
次の図のように、描画できる状態となります。

②　４分割表示された各画面にそれぞれ描画することができます。
描画は拡大表示されているそれぞれの生徒の画面に反映されます。

2　９分割以上の分割表示の場合

①　９分割以上の分割表示の場合には、画面をまたがって描画することができます。

※生徒端末画面に描画は反映されません。

※ページをめくると描画内容は消えます。

提出モード

提出モードは、各生徒の端末から、電子黒板に資料や板書の情報を提出できるモードです。
たとえば、生徒用端末で撮影した写真を、電子黒板に送信し授業に活用することができます。

提出モードを示すボタン
（ホワイトボード下部に表示）

※提出モードでは、アンケート機能、スタンプ機能は使用できません。
※モードを切替えた際、約 3 秒間、このボタンが押せなくなります。

1 「提出モード」への切り替え

① ホワイトボードを立ち上げます。

※「選択できる状態」で画面が立ち上がります。

「提出モードボタン」を押します。

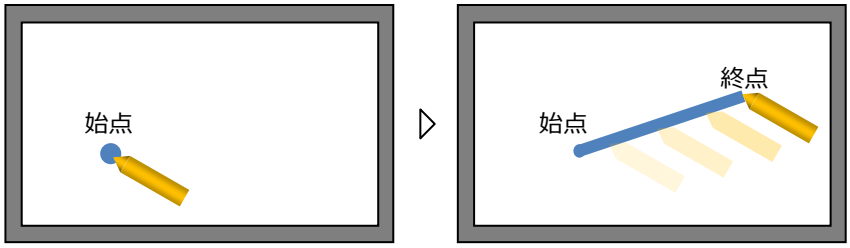
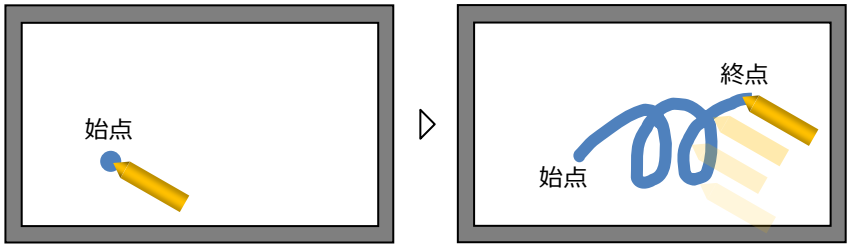
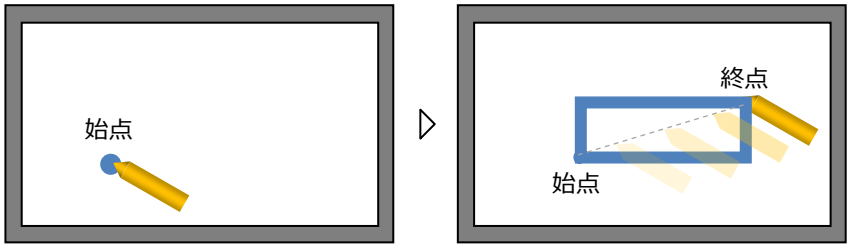
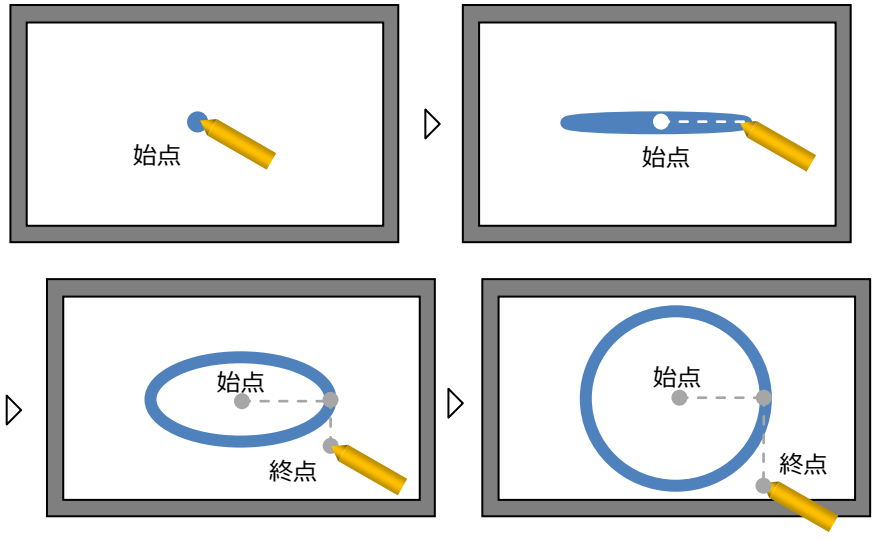
② 「提出モード」に切り替わりました。

※画面下部のボタンが「提出モード」に代わっています。

※クイズ・アンケートボタンは表示が消えます。

描画ツールの使い方

描画ツールの中の、「線の種類」の使い方について説明します。

<table>
<tr><td rowspan="5">線の種類
 </td><td>直線
 </td><td>始点から終点まで、ペンを移動すると直線が描けます。
 
</td></tr>
<tr><td>自由曲線
 </td><td>ペンで描いた通りに描画します。
 
</td></tr>
<tr><td>四角形
枠のみ
塗りつぶし</td><td>始点と終点が対角線となるように描画されます。
 
</td></tr>
<tr><td>円
枠のみ
塗りつぶし</td><td>円の中心となる点を始点とし、半径分だけ横方向にペンを移動し、次に縦方向に移動して楕円の高さを調整します。
 
</td></tr>
</table>

スクリーンショット機能

① 画面左下の「スクリーンショット」ボタンを押します。

② すると、ｅトーキーの画面が閉じ、画面左上に次のようなボタンが現れます。

→ 黄色い部分を押すとスクリーンショットが撮影できます。

→ 赤色の部分を押すとキャンセルされ、ｅトーキー画面に戻ります。

③ 通常のＰＣの操作により、教材やホームページなどを表示し、スクリーンショットを撮りたい画面で黄色いボタンを押します。

④ 「配布モード」の時
左図のように、全ての分割画面に画像が表示されます。
※全生徒の端末に画像が配信されます。

⑤　「提出モード」の時
左図のように、左上の先生画面のみ画像が表示され、その他の画面は各生徒の画面を表示します。

スタンプ機能（配布モードのみ）

教師用端末から、予め登録されたスタンプ（画像データ）をホワイトボード上で自由に配置することができる機能です。（※教師用アプリで事前に設定している場合に使えます。）

1　スタンプの登録（→教師用アプリを用いて行います）

画像データを準備し、教師用アプリより電子黒板用アプリにデータをアップロードします。
（→「教師用アプリ取扱説明書」の、「操作手順」＞「準備」の項目を参照）

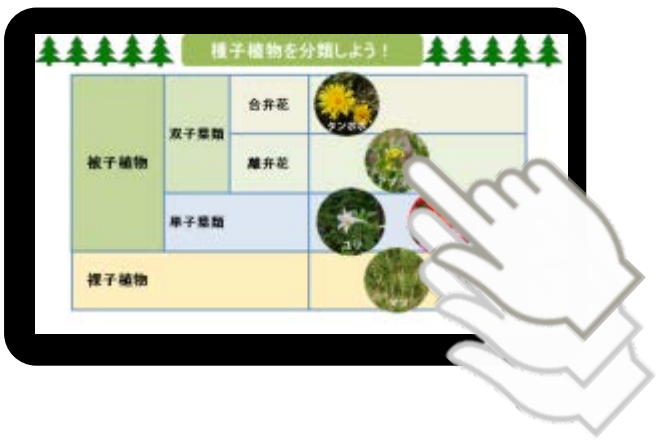
2　ホワイトボードでの操作

配布モードにおいて、スタンプが事前登録されているページでは、各生徒端末からスタンプを動かすことが可能です。（スタンプの事前登録の方法は、「教師用アプリ取扱説明書」の「操作手順」＞「準備」の項目を参照ください。）

① 左の図の赤丸○部分の画像がスタンプです。
画面上でスタンプをドラッグして移動することができます。

② 生徒用アプリ上では表示されているページにおいてスタンプ機能が有効かどうかがわかりません。教師側より「スタンプを動かして」とお知らせください。

【生徒用端末】



※生徒側でも左図のようにスタンプを動かすことができます。

クイズ・アンケート機能（配布モードのみ）

２択～５択のクイズ・アンケートを行うことができる機能です。

1　クイズ・アンケートの登録（→教師用アプリを用いて行います）

教師用アプリのクイズ・アンケート作成機能を用いて予めクイズ・アンケートを作成しておきます。この時、クイズ・アンケートの選択肢数、正解がある場合はその登録などを行います。また、クイズ・アンケート画面で用いる背景画像も予め準備しておきます。

（→教師用アプリ 取扱説明書「クイズ・アンケート」の項目を参照）

2　クイズ・アンケートの実施

① 「配布モード」において、クイズ・アンケートボタン をクリックすると、クイズ・アンケートが開始されます。

この時、各生徒端末には２択～５択の選択肢が番号で表示され、生徒端末から回答できるようになっています。

② クイズ・アンケートモードでは、クイズ・アンケートアイコンは次のように表示されます。

※これを押すとクイズ・アンケートモードは終了されます。

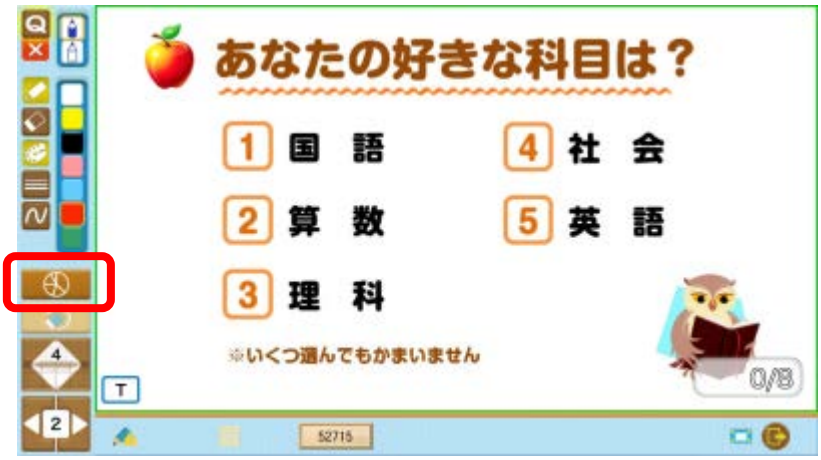
各生徒が回答し終わったら「グラフ表示ボタン」を押してクイズ・アンケートを集計します。

③　クイズ、及び、アンケート（単一回答形式）の場合には、設問ごとの得票数（数字）と、円グラフ（設問ごとの得票割合%）で結果が表示されます。右下の[6/8]は、8 人の授業のうち、6 人から回答があったことを示します。「分割表示ボタン」を押すと生徒ごとの回答状況が色別に表示されます。

④　そして、クイズの場合、「答え合わせ」ボタンにより、正解／不正解を表示します。

※「並び替え」ボタンを押すと、画面表示を選択肢ごと（色別）に並び替えて表示します。

⑤　「答え合わせ」ボタンを押すたびに、○×の表示／非表示が切り替わります。



⑥ アンケートが複数回答可能な設定の場合の例を示します。

生徒の回答後、「グラフ表示ボタン」を押します。

⑦ 左図のような棒グラフで結果が表示されます。
各棒グラフ右端の数字は、各設問の投票数を示します。
（左図の場合、全部で８人からの回答があったことを示します。）

⑧「分割表示ボタン」を押すと左のような画面になります。
各生徒画面の左上に、それぞれの生徒の回答状況が表示されています。

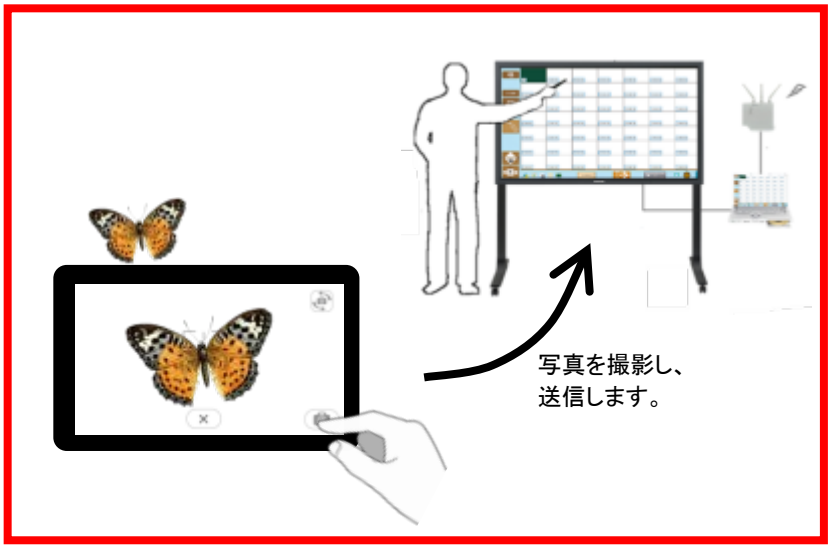
画像の読込み

生徒が提出した写真や画像を、電子黒板アプリに登録し、電子黒板上で教師画面に読み込んだり、全員で共有します。

1　生徒用アプリで撮影した写真を電子黒板アプリ上で表示する

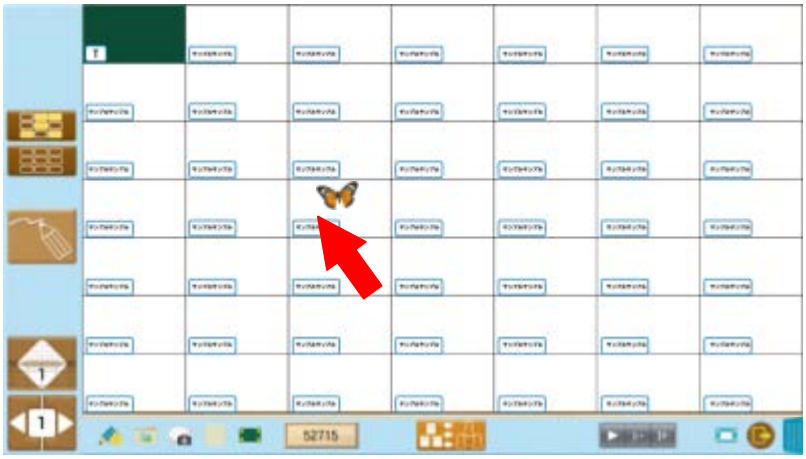
生徒用アプリで撮影した写真や画像を、電子黒板アプリの生徒画面上に表示します。

【生徒用端末での操作】



①　生徒用端末で写真撮影・画像登録を行います。
（本操作は提出モードで行います。）

※詳しくは「生徒用アプリ　取扱説明書　写真を撮影して提出する」をご参照ください。



②　写真撮影・画像登録した生徒の画像が電子黒板の画面に表示されます。

生徒画面の「名札表示ボタン」を押すと、その画面を拡大表示することができます。
（矢印の部分）

③　左図のようなダイアログ画面が表示されます

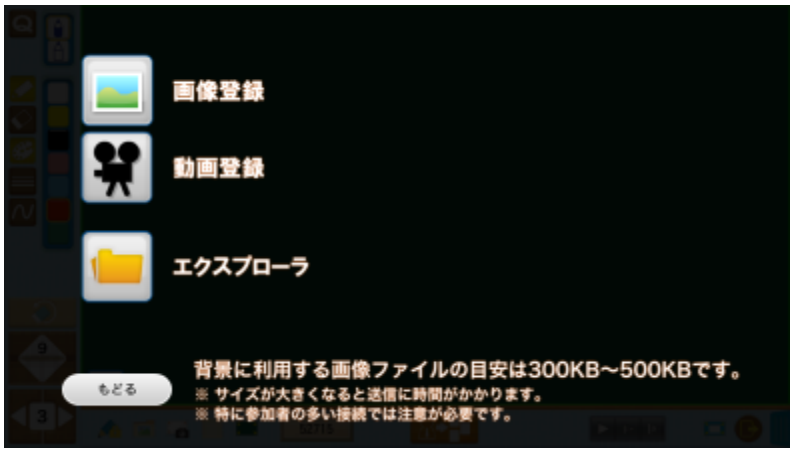
いずれかを選択します。

④　生徒の画面を拡大表示します。
③で選択した内容に応じて、全生徒に同じ画面が表示されます。

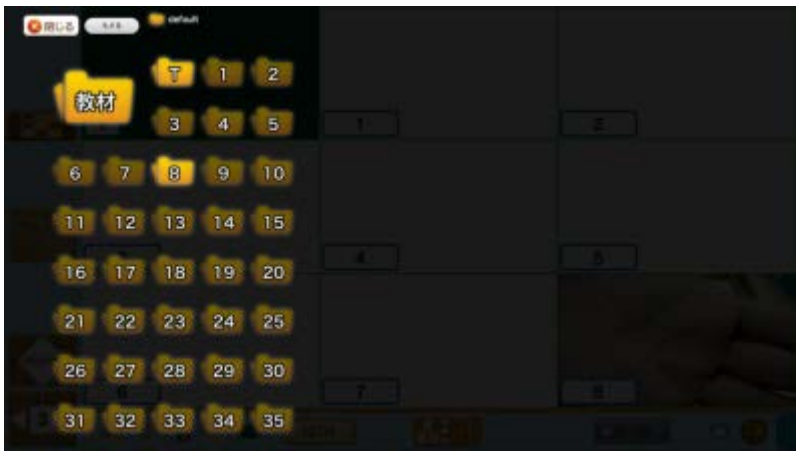
2　電子黒板アプリの教師画面に、生徒が送った画像を登録・表示する

生徒用アプリから送信された写真や画像を電子黒板アプリの教師画面に読込みます。

①　「画像登録ボタン」 を押します。



② 左の画面（画像登録ダイアログ）が表示されます。画像登録のボタンを選択してください。



※ データが保存されているフォルダは明るく表示されます。

③ 左の画面が開きます。
これらのフォルダは、電子黒板用ＰＣのデスクトップにある「eTalkieGL50」という名前のフォルダ内のデータを参照しています。

「教材」フォルダ

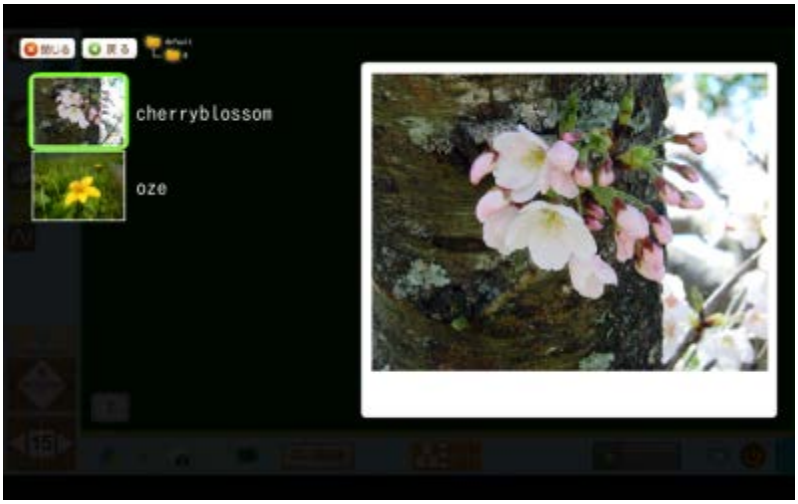
教師用アプリで事前準備したときに使った画像などがここに保存されます。

「Ｔ」フォルダ

電子黒板アプリで登録した写真画像や動画が保存されます。

「1～49」フォルダ

各生徒に１つずつフォルダが表示されます。フォルダの番号は、ＩＤで入室の場合は入室した順番が表示され、クラス情報で入室した場合は出席番号が表示されます。これらのフォルダには、各生徒アプリから送られた写真画像や動画が保存されます。



④　フォルダを選ぶと左のような画面が表示されます。

サムネイル画像を選ぶと、右側に拡大して表示されます。
選択したサムネイル画像には緑色の枠が表示されます。

選択したサムネイルをもう一度押すと教師画面上に読込まれます。

⑤　ホワイトボード画面に画面が切替わり、選択した画像が教師画面に表示されます。

※画像は画面中央に表示されます。
（縦横比が 16:9 ではない画像は、左右または上下に空白ができます。）

動画の読込み・再生

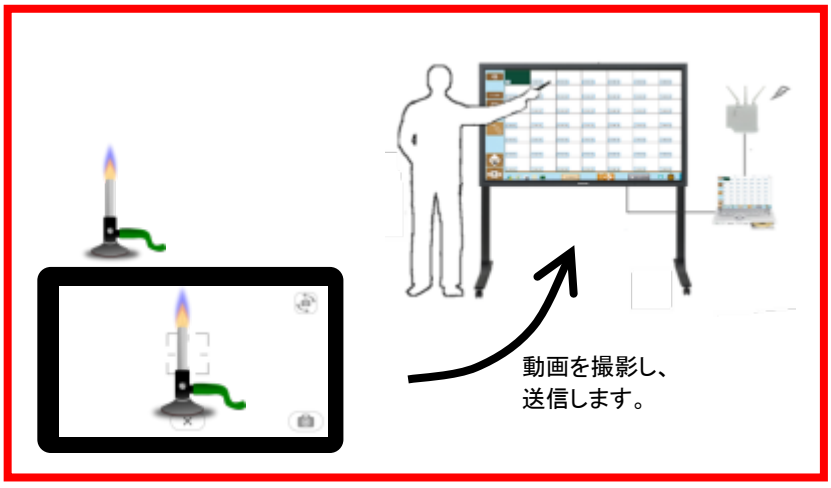
生徒用端末で撮影した動画を電子黒板用アプリに送信し、電子黒板上で再生できます。また、別途準備した動画を電子黒板上で再生できます。（wmv, mov, mp4, flv が利用可能です）

※動画を生徒用端末に配信することはできません。（電子黒板で動画の再生中は、生徒用端末には「電子黒板で動画を再生中です」と表示します。）

1　動画の準備―生徒用端末で動画を撮影し、電子黒板に読み込んで再生する

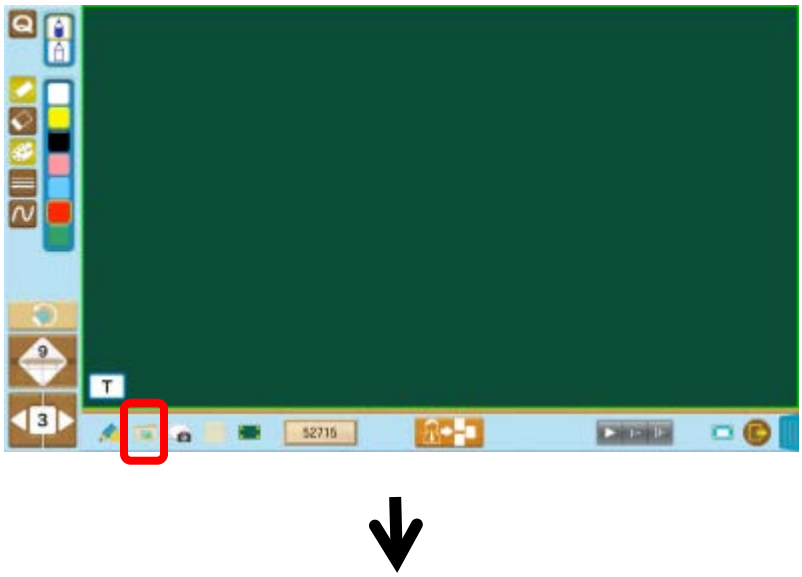
生徒用端末で動画を撮影し、電子黒板アプリに送信します。（→詳しい説明は「生徒用アプリ取扱説明書」を参照ください。）

【生徒用端末での操作】

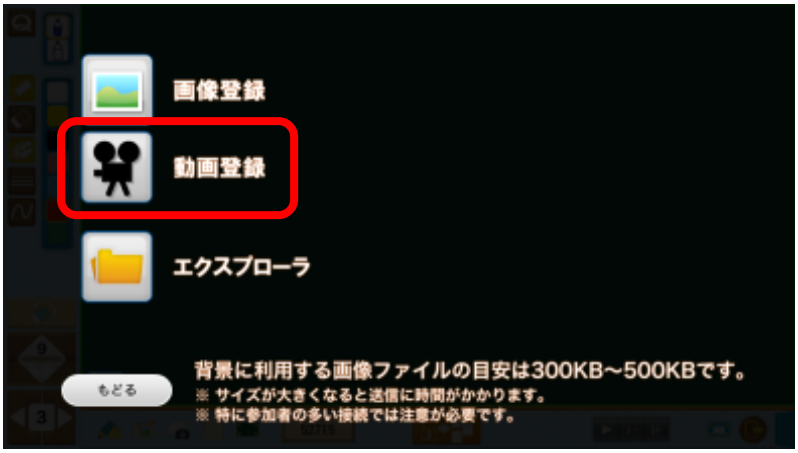


①　生徒用端末で動画撮影を行います。（本操作は提出モードで行います。）

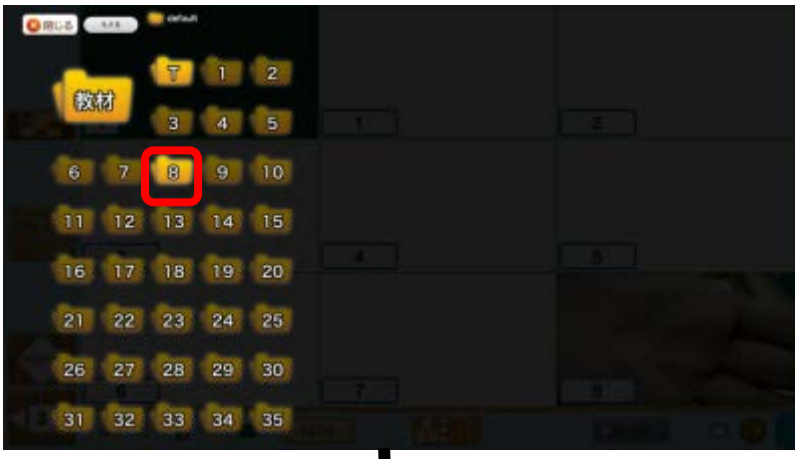
※詳しくは「生徒用アプリ　取扱説明書　写真を撮影して提出する」をご参照ください。



②　「画像登録ボタン」 を押します。

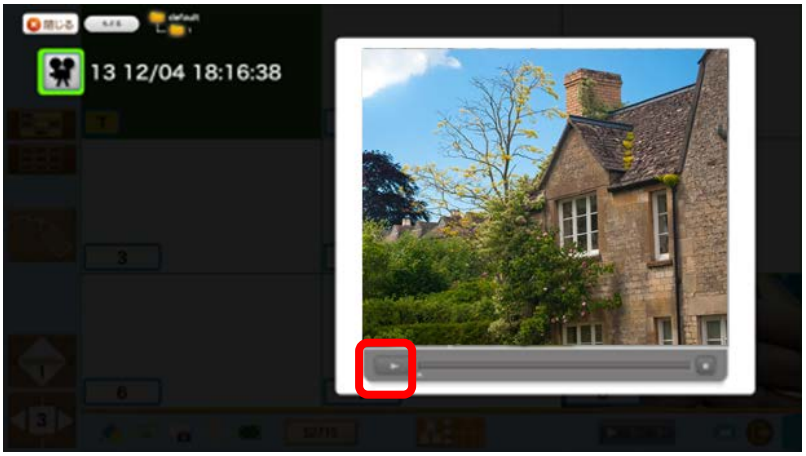


③「動画登録」ボタンを押します。



③ 生徒のフォルダ（１～49）から動画を選択します。

※明るく表示されているフォルダはデータが存在することを示しています。



④生徒が保存した動画が表示されますので、電子黒板で再生したい動画を選択します。

（プレビューボタンでプレビュー再生が可能です）

この動画でよければ、左の動画アイコン を再度クリックします。

⑤ 動画が表示されます。
右下の動画再生ボタン等で動画を再生します。

(a)　(b)　(c)

(a) 再生
通常再生します

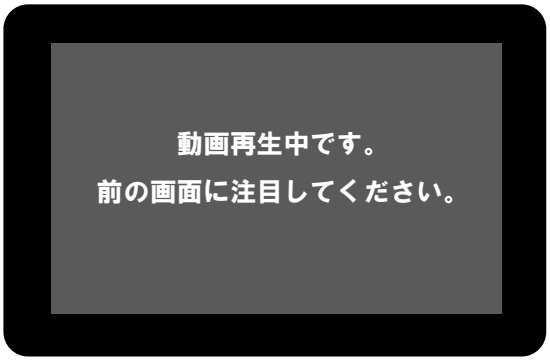
(b) スロー再生
1/4 倍速で再生します

(c) 超スロー
1/8 倍速で再生します

※いずれのボタンも二度押すと一時停止します

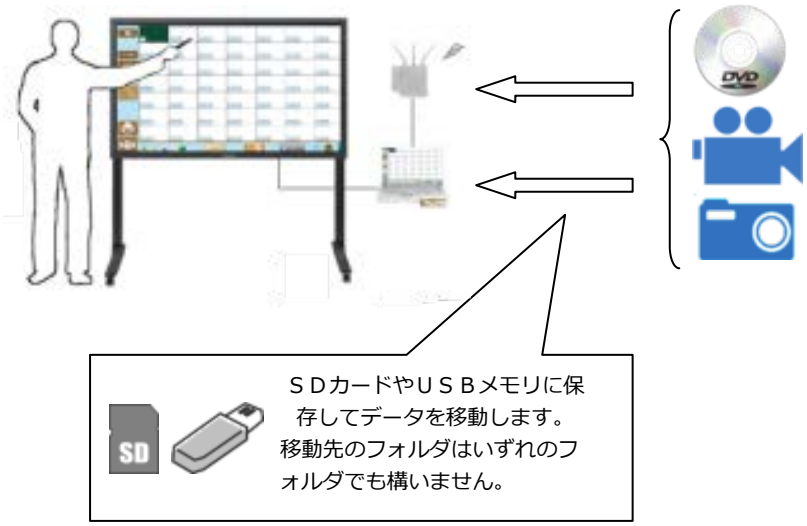
⑥ 電子黒板で動画の再生中、生徒用端末では左図のように表示されています。

【生徒用端末】



エクスプローラーを利用しての画像・動画の読込み

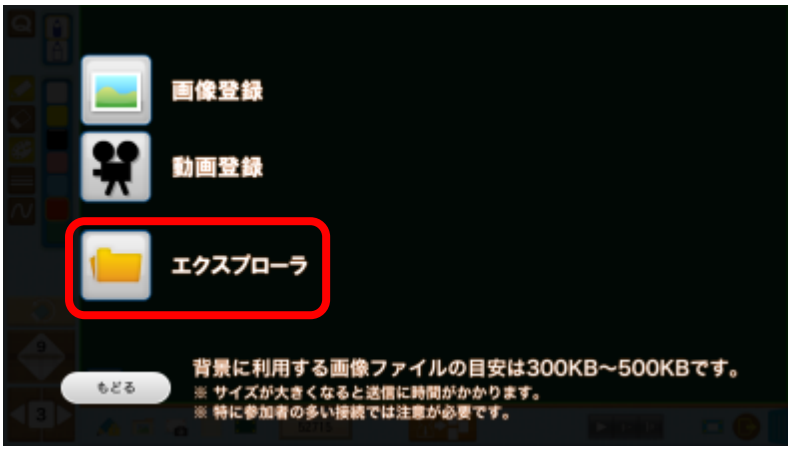
電子黒板用ＰＣに保存してある画像や動画を電子黒板アプリに読込みます。



① 画像・動画を準備し、電子黒板用アプリに読込可能な形式で保存します。

※ 読込可能な画像形式は、jpg です。

※ 読込可能な動画形式は、FLV, MP4, WMV, MOV です。

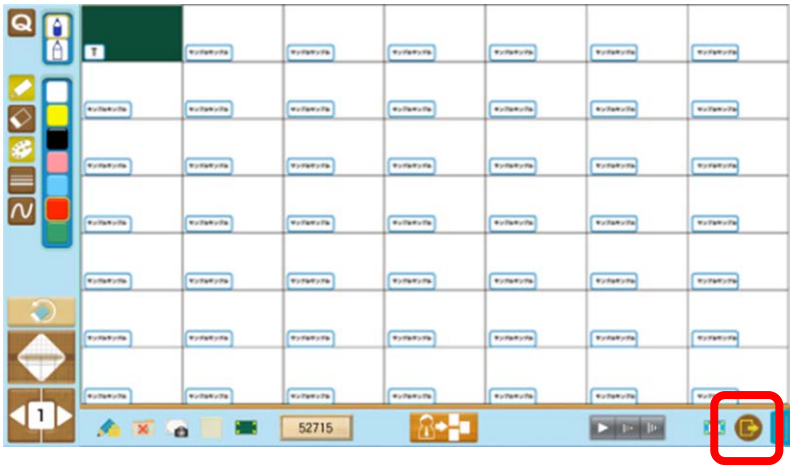


② エクスプローラを選択します。

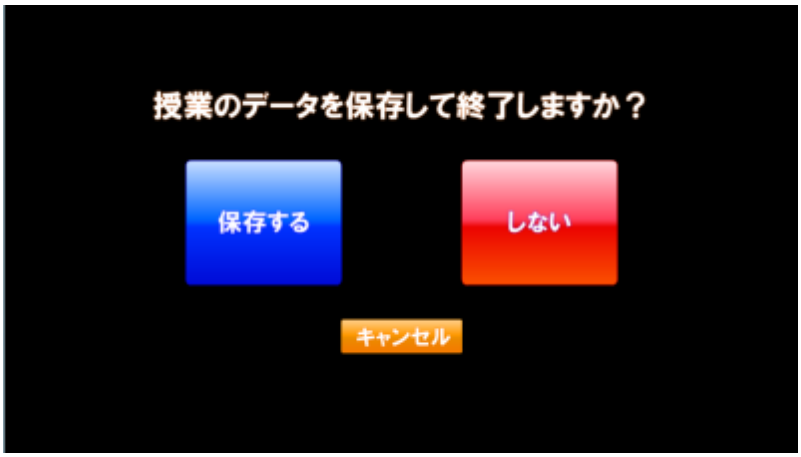
画像・動画を保存したフォルダからデータファイルを選択します。

あとは、前述と同じ方法で再生します。

授業の終了



① 授業を終了するに「授業終了ボタン」を押します。



② 左の画面が表示されます。

「保存する」

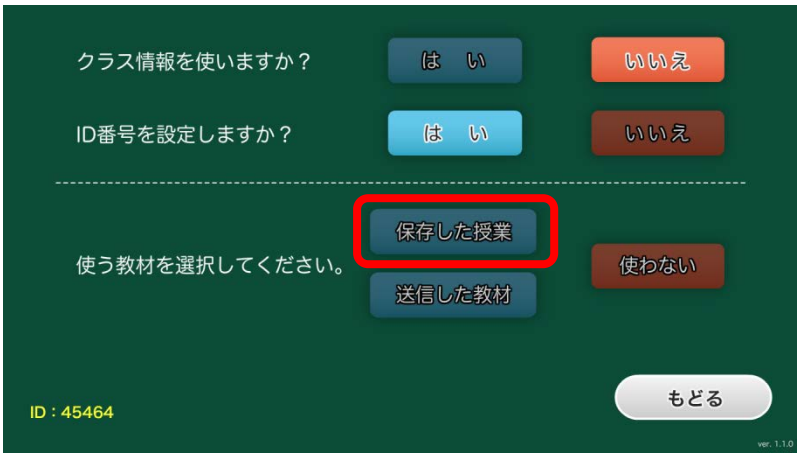
授業終了直前の授業データ（教材画像、登録　した画像や動画、クイズ・アン　ケートの設定、スタンプの設定、　配布／提出モードの設定、先生　及び生徒の手書き情報）が保存されます。但し、動画を読込んだ情報はリセットされます。

「しない」

授業のデータを保存せずに終了します。

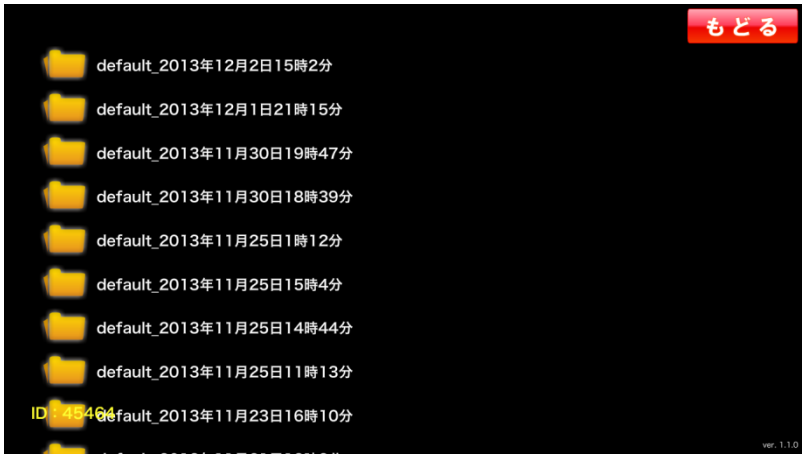
③ 授業が終了しました。
（最初の画面に戻ります）

授業データの保存について



① 授業終了時に「保存する」を選んだ場合は次回以降、授業をする際に「教材」の設定時に選択することができます。

「保存した授業」を選びます。

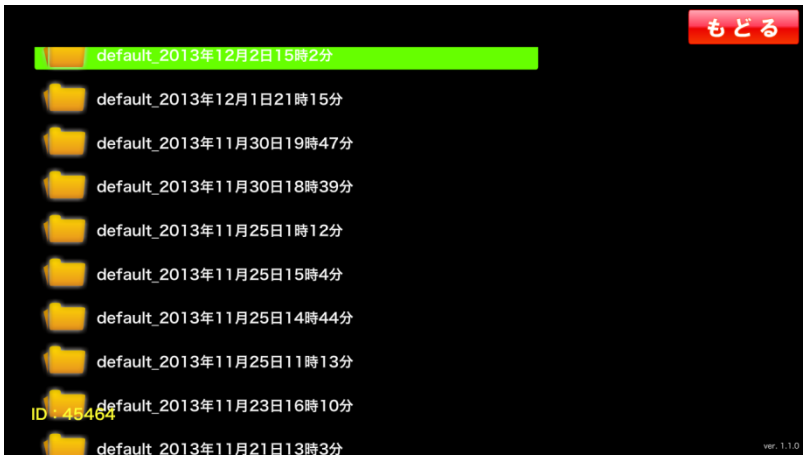


④　保存された授業一覧が表示されます。

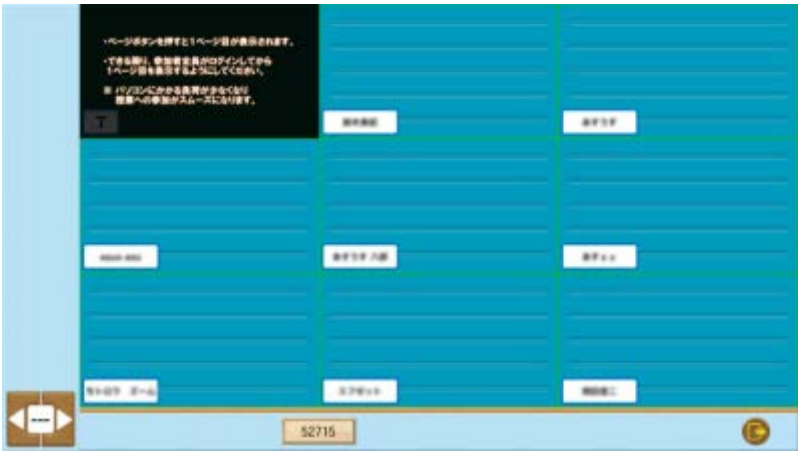
【クラス情報で授業した場合】
クラス名_保存日時のフォルダ

【ID で授業した場合】
default_日時のフォルダ

※これらの授業データは、PC のデスクトップに自動生成された"eTalkie GL50"という名前のフォルダに保存されています。



⑤ 読み込みたい授業を 2 回クリックすると、授業データが読み込まれます。



⑥ 保存した授業のデータを使って、再度授業を行う場合、保存したデータと同じクラス情報で授業を行う必要があります。

※保存した授業データを使って、ID 番号で生徒が入室した場合、入室順に割り振られますのでご注意ください。

「ページボタン」を押すと 1 ページめが開きます。